

ニュースリリース

**シリアル ATA 対応 2.5 型 iVDR 及び
1.8 型 iVDR mini の新規格採用**

2003 年 5 月 26 日

iVDR ハードディスクドライブ・コンソーシアム

シリアル ATA 対応 2.5 型 iVDR 及び 1.8 型 iVDR mini の新規格採用

iVDR コンソーシアム(代表 日置敏昭)は5月26日に総会を開催し、新しいiVDR*¹ライナップとして、シリアル ATA*²対応の2.5型 iVDR と 1.8型 iVDR mini の2種類の新iVDR規格を採用しました。

これまでに iVDR コンソーシアムは、パラレル ATA インタフェースを持った 2.5 型 iVDR (iVDR parallel) の技術仕様を策定してきました。今回の新規格の追加は、データ転送の高速化と将来的な継続性を背景に、パラレル ATA からシリアル ATA への移行が始まった最近の HDD 業界の動向に合わせたものです。2種類の新規格採用により“AV 機器から PC まで幅広い用途に対応でき、かつ小型軽量、持ち運び可能なリムーバブルハードディスクドライブ”という「iVDR」の特徴を進化させ、高い将来性と一層の小型化を実現し多様なアプリケーションに対応した「iVDR」シリーズとして提供できるようになりました。

iVDR ハードディスクドライブ ハードウェア仕様 (2.5 型)	
サイズ(W×H×D)	80mm ¹ × 12.7mm × 110mm ²
耐衝撃性	900G 以上を確保すること(非動作時)
コネクタ部仕様	[形状] シリアル ATA 標準 (シャッター機構:オプション) [耐久性] 挿抜回数 10,000 回 [ピン配置] 信号部:シリアル ATA 準拠、電源部:iVDR 用拡張
コマンド	ATA 標準 + セキュア拡張 (オプション)

1:iVDR と iVDR mini の横幅とコネクタ部を共通化することで互換性を確保。

2:iVDR parallel との比較では、20mm の小型化を実現。

iVDR mini ハードディスクドライブ ハードウェア仕様 (1.8 型)	
サイズ(W×H×D)	80mm ¹ × 10mm × 67mm
耐衝撃性	900G 以上を確保すること(非動作時)
コネクタ部仕様	[形状] シリアル ATA 標準 (シャッター機構:オプション) [耐久性] 挿抜回数 10,000 回 [ピン配置] 信号部:シリアル ATA 準拠、電源部:iVDR 用拡張
コマンド	ATA 標準 + セキュア拡張 (オプション)

2.5 型「iVDR」は、リムーバブルでありながら、ハードディスクドライブならではの大容量記録、高速ランダムアクセスが可能であり、現在の 80GB から、2~3 年後には 200GB~400GB の容量アップも期待できます。また、複数の 2.5 型「iVDR」を使用することで、TB(Tera Bytes)容量を持つ大容量サーバでさえユーザが簡単に構築することができます。また一方 1.8 型「iVDR mini」の容量は現状では 20GB 程度ですが、小容量・小型機器への応用が可能です。今後のコンソーシアム活動を通して、この「iVDR」シリーズを標準化することで、AV 機器業界や PC 業界における共通の互換性ある記録媒体としての位置付けが明確になり、「iVDR」を用いた新しいハードディスクアプリケーションのインフラを、ますます充実・拡大させることが可能となります。

《iVDR コンソーシアムの目的》

「iVDR コンソーシアム」は、家電、PC、周辺機器、HDD メーカー等、30社が参加し、新発想のリムーバブルハードディスクドライブを中心とした、AV 機器から PC まで幅広く対応する次世代大容量データプラットフォームの標準化をめざして、「iVDR」規格策定作業と、その普及活動を行っています。

具体的には 2.5 型 **iVDR** や 1.8 型 **iVDR mini** などの小型ハードディスクドライブを用いて AV 機器から PC まで高い互換性と可搬性を実現するためのインタフェース、ファイルシステム、アプリケーション等の技術規格検討を進めてきました。尚、本コンソーシアムでは、さらに 1 型 **iVDR micro** に関する規格策定の検討も開始しております。

また、個人データ保護、業務用データ保護、著作権対応デジタルコンテンツ保護を実現する上で大変重要な“コンテンツ保護セキュリティ機能”についても技術仕様の検討を進めています。

《iVDR の技術的特徴》

「iVDR」はハードウェア規格、インタフェース規格、ファイルシステム規格にとどまらず、アプリケーションデータフォーマットおよびコンテンツ保護セキュリティ等の仕様を規格化し、AV 機器および PC で共通に利用可能な次世代大容量データプラットフォームを実現します。iVDR は、ハードディスクドライブの持つ小型大容量、高速アクセス性能を活かし、AV 機器において利用される映像コンテンツ等のあらゆるデータを取り扱うデータプラットフォームとして中心的役割を果たします。ホームサーバ、ビデオレコーダ、車載 AV 機器や PC など、幅広い分野でデータの共有を提供する新しいメディアです。また、コンテンツ保護セキュリティ機能を実装しないノーマルタイプに加え、利用用途によってコンテンツ保護セキュリティ機能を実装したセキュアタイプがあります。

今後、さまざまなアプリケーションに対応してデータ互換を実現するためのアプリケーションデータフォーマット規格、コンテンツ保護セキュリティ規格の策定をコンソーシアムで進めていく予定です。

《「iVDR コンソーシアム」ホームページ》

URL : <http://www.ivdr.org>

《お問い合わせ先》

iVDR コンソーシアム事務局

三洋電機(株) 技術開発本部内

電話 : 03-5803-3561

FAX : 03-5803-3639

E-mail : info@ivdr.org

*1iVDR: Information Versatile Disk for Removable usage

*2ATA: AT Attachment. 1989年にアメリカ規格協会によって標準化されたハードディスクドライブの命令、データ転送方法、電氣的仕様などのインタフェースの正式な規格

《会員リスト》 30社

アルファベット順

1. ACARD TECHNOLOGY CORPORATION
2. アルパイン株式会社
3. アルプス電気株式会社
4. キヤノン株式会社
5. 第一電子工業株式会社
6. FCI ジャパン株式会社
7. 富士通株式会社
8. 船井電機株式会社
9. 株式会社 日立製作所
10. 株式会社日立グロ - バルストレ - ジテクノロジー - ズ
11. 株式会社日立ハイテクノロジーズ
12. 株式会社アイ・オー・データ機器
13. IOMEGA
14. イリソ電子工業株式会社
15. 日本圧着端子製造株式会社
16. 北川工業株式会社
17. MAXTOR
18. マクセル精器 株式会社
19. 株式会社 メルコ
20. ミツミ電機株式会社
21. MOLEX SINGAPORE PTE. LTD.
22. Seagate Technology LLC
23. フェニックス テクノロジーズ株式会社
24. パイオニア株式会社
25. 三洋電機株式会社
26. シャープ株式会社
27. 大宏電機株式会社
28. 東京エレクトロニクス株式会社
29. 日本ビクター株式会社
30. 矢崎シスコムプラス株式会社

以 上